

電波ソーラーウォッチ 取扱説明書

MW550 RC solar watch-2308

お買い上げありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度：平均月差±30秒以内(気温25℃で使用した場合/電波時計による時刻修正を行わない場合)
- 使用温度範囲：0～+40℃ ■使用電池：ボタン形電池(CR2032 3V) 1個
- 12/24時間表示切替 ■カレンダー表示(月/日/曜日) ■アラーム機能 ■報時機能 ■ライト機能
- カウントダウンタイマー機能：最大23時間59分 ■デュアルタイム機能
- ストップウォッチ機能(1/100秒から23時間59分59秒まで)
(1/100秒まで表示するストップウォッチ機能、スプリットタイム機能)
- 電池寿命：約3年(1日8時間ソーラーパワー駆動を併用した場合)
- 電波受信：40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる
 - 自動受信(最多3回/1日) ●手動受信
- 防水機能：10気圧防水

●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

本体のご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。

- 分解や改造をしない ケガや故障、火災や感電の原因になる。
- 故障や破損した状態で使わない ケガや火災、感電などの原因になる。
- 電池を取り出さない 故障、事故の原因になる。
- 本体内部に水分や異物を入れない
- 火の中に捨てたり加熱しない

使用時のご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 時計以外の目的では使用しない
- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)では使用しない
- サウナや入浴時、スキー場や登山等の極端な温度条件(高温・低温共に)のもとでは、ヤケドや凍傷の原因になる恐れがあるため、使用しない
- バンドはきつくしめない
きつく締めると汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでふれやすくなります。
バンドは指一本程度が入る余裕を持たせてご使用ください。
- 磁気には近づけない
医療機器などの強い磁気を発する機器は誤動作や電子部品を破損する恐れがあります。
- 強い振動や衝撃を与えない ※軽いスポーツによる影響はありません。
- 下記のような場所では保管しない 精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。
 - ◆静電気が発生する場所 ※異常動作や故障の原因になる。◆長時間直射日光が当たる所
 - ◆火気のそば◆暖房機器の風が当たる所◆温度が+40℃以上の所、または-10℃以下の所
 - ◆寒暖差が大きい所◆色移りや付着、変質の可能性があるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、長い間直接ふれさせておかない。

注意 人的障害または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 時計表示の確認は、ケガや思わぬ事故防止の為、十分に安全が確認された場所で行って下さい。特に道路上でのマラソンやジョギング、自転車やバイク、自動車等の運転中は事故の原因となる事がありますので、十分注意して下さい。また第三者への接触による事故にも十分注意して下さい。
- 激しい運動や作業等を行うときは、自身や第三者へのケガや事故防止の為、十分注意して下さい。
- 乳幼児を抱くとき等は、乳幼児のケガやアレルギーによるかぶれの発生等の事故防止の為、あらかじめ時計を外す等十分注意して下さい。
- 思わぬ事故を防ぐため、就寝時は時計を外す等十分注意して下さい。
- ケースやバンドは、直接肌に接している為、常に清潔にして使用して下さい。金属の腐食や汗、汚れ、ホコリ等の気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。
- 体質によりかゆみ・かぶれを生じる場合があります。皮膚に異常を感じたときは、ご使用を中止し、医師の診断を受けて下さい。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有する物(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤等)が時計本体に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意して下さい。また体温計等に使用されている水銀に触れますと、ケース・バンド等が変色する事があります。
※化学薬品・ガスの中でのご使用は避けて下さい。

電池のご注意

電池について

- 電池のご使用上のポイント ◆時計が動いていても定期的に交換する。◆時計が止まったらすぐに電池を交換する。
- お試用電池の寿命について
付属の電池は、工場出荷時に付けられたお試用電池です。お買い上げいただくまでの時間も作動し続けているため、お買い上げ後、製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。

電池の交換について

- 電池交換の際は、お買い上げ店、お近くの時計専門店または弊社サービスセンターにて電池交換を行って下さい。(電池交換は別途有償となります。)
- 防水性能を維持するために、電池交換の際は防水検査を実施して下さい。(防水検査は別途有償となります。)

お手入れについて

- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となります。
- プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラぶきして下さい。
- バンドは石鹸水で洗い、その後水で洗い流し水滴をふき取って下さい。化学製品ですので洗剤によって変質する事があります。通常、数年ご使用になると材質が硬化してきますので、その際は新しいバンドに交換して下さい。
- 長期間ご使用にならないときは、汗、汚れ、水分等を良くふき取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管して下さい。保管する際は、乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。

時計の廃棄について

- 廃棄の際は、お住いの地区自治体の指定に従って下さい。

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 0～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- 静電気による一時的な現象で、誤った時刻を表示する場合があります。

保証書 GUARANTEE

保証期間内に、取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一故障した場合、本保証書を添えて製品をお買い上げの販売店にお持ち込み下さい。無料修理・調整いたします。なお、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- 本保証書は、型番、お買い上げ販売店、お買い上げ日の記入・捺印、販売証明書の添付によって有効となります。お買い上げの際にご確認のうえ、大切に保管して下さい。
- 保証書は再発行いたしません。
- 保証書は日本国内のみ有効です。(This guarantee is valid only in Japan.)

型番： _____
保証期間：お買い上げ _____年 _____月 _____日より1年間
販売店(印)：店舗名・住所・電話番号

発売元 ノア精密株式会社

本社：〒111-0042 東京都台東区寿1-6-7 ユーハイツ伸光3階

保証・アフターサービスについて

- 当製品のアフターサービスは、原則として販売店がいたします。取扱説明書、保証書をよくお読みいただいたうえ、ご利用下さい。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理となりますのでご注意ください。

- ・本保証書の提示がない場合
- ・本保証書に販売店・お買い上げ日の記入・捺印のない場合
- ・取扱説明書の使用方法と注意書きに反したご使用方法により生じた故障または損傷
- ・お客様による修理・改造により生じた故障または損傷
- ・火災や天災による故障または損傷
- ・ご使用中に生じる傷や汚れなど外観上の変化
- ・電池の交換

※ご送付、お持ち込みの際の諸掛費用はお客様のご負担となります。

- 保証期間内であっても、修理・調整のための部品・付属品などについては、類似代替品を使用させていただくことがあります。

お問い合わせ先

ノア精密株式会社 サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-4 6-1

TEL:048-933-4080

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00～12:00, 13:00～16:30

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。

※通信にかかる費用はお客様のご負担になります。あらかじめご了承下さい。

<https://www.mag-clock.co.jp/aftersupport.html>

防水性能について

- 時計の文字板及び裏フタに記載の防水性能を確認の上、下記「気圧目安表」を参照し使用する
正しく使用されなかった場合、故障や事故の原因になる。
- 大量の汗をかいた後は、布などで良くふき取る
※時計内にも多少の湿度がありますので、外気の温度が時計内部より低い時、風防に曇りが出る場合があります。曇りが一時的な場合は支障はありませんが、長時間消えないときは、お買い上げ店または弊社サービスセンターにご相談下さい。

- 水中あるいは水分のついたまま、ボタン操作をしない
時計内部に水が入る可能性がある。
- 5気圧防水以上の時計でも、蛇口の水を直接当てない
防水性能以上の水圧がかかり、故障の原因となる場合がある。

「気圧目安表」

10気圧防水	日常生活での汗洗顔を雨等一時的にかかる水滴	家庭の水仕事や雨等	水上スポーツや水仕事等長時間水に触れる場合	空気ボンベを使用しないスキューバダイビング	空気ボンベを使用した本格的な潜水	水滴がついた状態でボタン操作
※1気圧=1BARを目安として下さい。	○	○	○	×	×	×

※水中あるいは水分のついたまま、ボタン操作をした場合、防水性を保つことが出来ません。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると事故の原因となります。

電波時計について

電波時計とは

標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について

標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外には受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波の受信範囲について

送信所からおおむね半径1000kmとされています。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール機などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作をして下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。
情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jyy.nict.go.jp>

各部の名称

注意 ご購入の商品により、各部の配置・サイズ・形状等が異なる部分がありますが、操作方法は同じです。あらかじめご了承下さい。

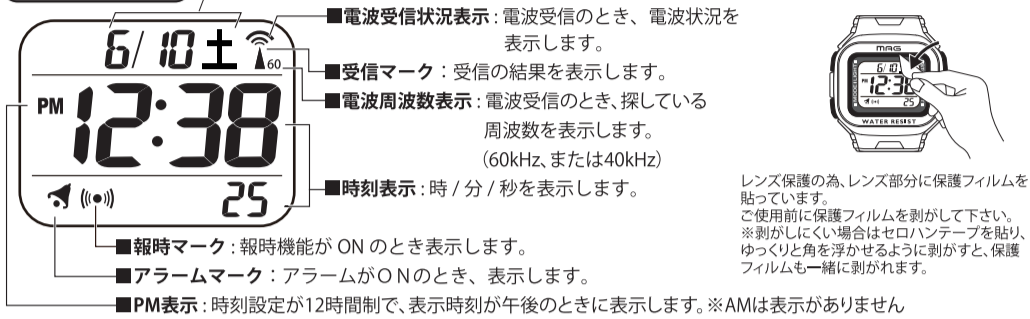
本体正面図



※Cボタンを押すごとに、次の順番で表示が切り替わります。

時刻・カレンダー ▶ ストップウォッチ(ST) ▶ アラーム(AL) ▶ カウントダウンタイマー(TM) ▶ デュアルタイム(DT)

液晶表示拡大図



電波受信機能

自動受信について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間(AM12:00 AM4:00 PM6:00の計3回)に再び電波受信を行います。

手動受信について(電波手動受信による時刻設定)

- 通常時刻表示のときに、Bボタンを2秒以上押し、「ピッ」と確認音が鳴り、電波受信が開始され、電波マークが点滅し始めます。「受信状況表示」(図1)を参考に受信状態の良い位置を探して下さい。
※電波受信中にBボタンを2回押しと電波受信を終了します。
※約4分後に受信は終了しますが、電波状況によってはそれ以上かかる場合もあります。
- 受信に失敗した場合は本書「電波時計についての電波を受信しにくい環境」を参考に、再度手動受信を行って下さい。
- 受信の結果を確認します。「受信結果の表示」(図2)を参照。

電波が受信できなかった場合(手動で時刻を設定する)

電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。本書「手動で時刻を設定する」を参照。



手動で時刻を設定する

注意 設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- 通常時刻表示のときに、Dボタンを2秒以上押し。「ピッ」と確認音が鳴って時刻設定モードに入り、[12]もしくは[24]が点滅します。
- Bボタンを押して[12/24時間表示]を設定します。
- [12/24時間表示]を設定したら、Cボタンを押します。→[秒]が点滅します。
- Cボタンを押すごとに[12/24時間表示]→[秒]→[時]→[分]→[年(西暦)]→[月]→[日]が点滅するので、Bボタンを押してそれぞれを設定します。
※[秒]はBボタンを押すごとに00秒に設定されます。
- [日]の設定が終了したら、Dボタンを押します。
→点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて設定が完了します。

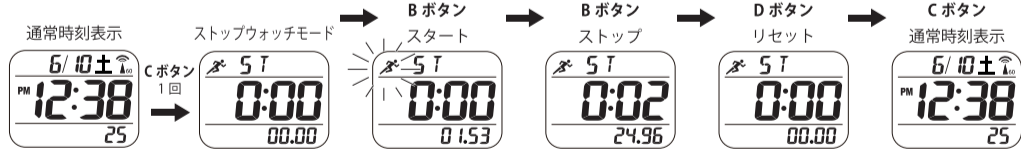


ストップウォッチ機能の使い方

※ストップウォッチ機能には、ストップウォッチ機能とスプリットタイム機能があります

ストップウォッチ計測方法

- 通常時刻表示のときに、Cボタンを1回押しします。→ストップウォッチモードに入ります。
※カレンダーの表示が「ST」に切り替わり、左上にマークが表示されます。
- Bボタンを押します。→マークが点滅して計測がスタートし、再度Bボタンを押すと計測がストップします。
※Bボタンを押すことにより計測がスタート、ストップ、スタート・・・を繰り返します。
- Dボタンを押します。→計測時間がリセットされます。
- Cボタンを押します。→通常時刻表示に戻ります。
※Cボタンを押さずに放置した場合は約60秒で通常時刻表示に戻ります。



スプリットタイム計測方法

(スプリットタイム計測はスタートからゴールまでの計測をしながらか途中経過の記録を確認できる計測です)

- 通常時刻表示のときに、Cボタンを1回押しします。→ストップウォッチモードに入ります。
※カレンダーの表示が「ST」に切り替わり、左にマークが表示されます。
- Bボタンを押します。→計測がスタートします。
- Dボタンを押します。→マークが点滅し、秒の左に「SPL」が表示され、スプリットタイム(途中経過)を表示します。
※この間も計測は続いています。
- Dボタンを押します。→計測が再度表示されます。
※Dボタンを押すことによりスプリットタイム表示、計測表示、スプリットタイム表示・・・を繰り返します。
- Bボタンを押します。→計測がストップします。
- Dボタンを押します。→計測がリセットされます。
- Cボタンを押します。→通常時刻表示に戻ります。
※Cボタンを押さずに放置した場合は約60秒で通常時刻表示に戻ります。



ライト機能について

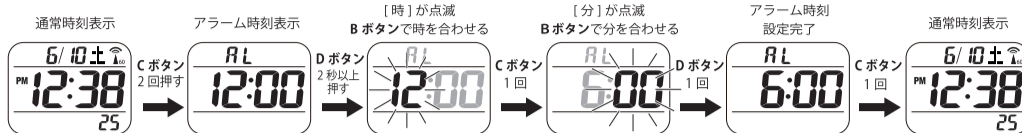
Aボタンを押すとライトが約3秒間点灯します。

アラーム時刻の設定

MW550 RC solar watch-2308

注意 設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- 通常時刻表示のときに、Cボタンを2回押しします。→アラーム時刻が表示されます。※カレンダーの表示が「AL」に切り替わります。
- Dボタンを2秒以上押し。「ピッ」と確認音が鳴り、アラーム時刻設定モードに入り、[時]が点滅します。
- Bボタンを押して[時]を設定します。
- [時]の設定が終了したら、Cボタンを押します。→[分]が点滅します。
- Bボタンを押して[分]を設定します。
- [分]の設定が終了したら、Dボタンを押します。→アラーム設定時刻が表示されて設定が完了します。
- Cボタンを押します。→通常時刻表示に戻ります。※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
※[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。(午後はPMが表示され、午前はAM表示がありません)



アラーム機能・報時機能の使い方





アラームを鳴らす/止める

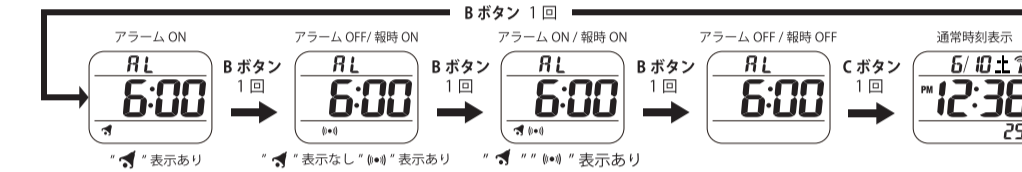
- 通常時刻表示のときに、Cボタンを2回押しします。→アラーム時刻が表示されます。※カレンダーの表示が「AL」に切り替わります。
- Bボタンを押します。→マークが表示し、設定した時刻になると、アラームが鳴ります。
※アラームは鳴り始めから約30秒後に自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻まで鳴りません。
- アラームを止めるときはいずれかのボタンを押します。

アラーム・報時のON/OFFの切替方法

- 通常時刻表示のときに、Cボタンを2回押しします。→アラーム時刻が表示されます。※カレンダーの表示が「AL」に切り替わります。
- Bボタンを押すとアラーム・報時のON/OFFの切替ができます。

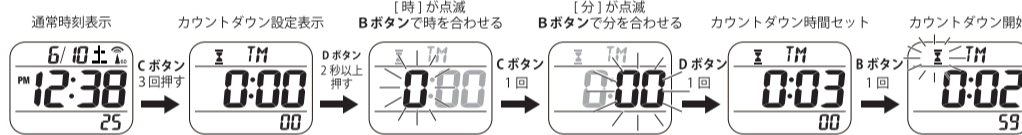
アラーム・報時マーク

機能	ON	OFF
アラーム	"  "表示あり ※アラーム設定時間になるとアラームが鳴ります。	"  "表示なし
報時	"  "表示あり ※正時になると「ピッ」と音が鳴ります。	"  "表示なし



カウントダウンタイマー機能の使い方

- 通常時刻表示のときに、Cボタンを3回押しします。→カウントダウン設定モードに入ります。
※カレンダーの表示が「TM」に切り替わり、マークが表示されます。
- Dボタンを2秒以上押し。「ピッ」と確認音が鳴り、[時]が点滅します。
- Bボタンを押して[時]を設定します。
- [時]の設定が完了したら、Cボタンを押します。→[分]が点滅します。
- Bボタンを押して[分]を設定します。
- Dボタンを押します。→[カウントダウン時間]がセットされます。
- Bボタンを押すと、マークが点滅し、カウントダウンを開始します。
再度Bボタンを押すと、カウントダウンが一時停止します。続けてカウントする場合はもう一度Bボタンを押します。
アラームを止めるときはいずれかのボタンを押します。
※カウントダウンタイマーのアラーム音は約30秒後に自動的に鳴り止まります。
※タイマーをリセットするときは、タイマー表示画面でDボタンを2秒以上押しして下さい。
※最大23時間59分までカウントすることが出来ます。
※カウントダウン中にCボタンを押すと通常時刻表示に戻りますが、カウントダウン機能は作動していますので、時間になるとアラーム音が鳴ります。



デュアルタイム機能について

デュアルタイム機能とは、現在時刻の他に時差のある別の地域の時刻を設定することが出来る機能です。下記のグリニッジ標準時を基準とした「GMTタイムゾーン一覧表」を参考に時差を設定して下さい。※本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。

GMTタイムゾーン一覧表

GMTとの時差	都市名・地域	GMTとの時差	都市名・地域
± 0h	グリニッジ標準時 ロンドン、リスボン	± 0h	グリニッジ標準時 ロンドン、リスボン
-11h	バコバゴ	+ 1h	マドリド、パリ、ローマ、ベルリン、ストックホルム
-10h	ホノルル	+ 2h	アテネ、カイロ、エルサレム
- 9h	アンカレジ	+ 3h	モスクワ、ジェッダ
- 8h	バンクーバー、ロサンゼルス	+ 4h	ドバイ
- 7h	エドモントン、デンバー	+ 5h	カラチ
- 6h	メキシコシティ、シカゴ	+ 5.5h	デリー
- 5h	ニューヨーク	+ 6h	ダッカ
- 4h	サンティアゴ、ハリファックス	+ 7h	バンコク
- 3h	リオデジャネイロ	+ 8h	シンガポール、香港、北京、台北
- 2h	フェルナンド・デ・ノローニャ	+ 9h	ソウル、東京
- 1h	ブライア	+ 9.5h	アデレード
		+ 10h	クアム、シドニー
		+ 11h	ヌーメア
		+ 12h	ウェリントン

デュアルタイム(時刻)設定方法

- 通常時刻表示のときに、Cボタンを4回押しします。→デュアル時刻設定モードに入ります。
※カレンダーの表示が「DT」に切り替わり、[デュアル時刻]が表示されます。
※時差未設定時はグリニッジ標準時(±0h)を表示します。
- Dボタンを2秒以上押し。「ピッ」と確認音が鳴り、前回設定した時差が表示され、[+]または[-]が点滅します。
Bボタンを押して[+]または[-]を設定します。
※設定したい場所のデュアル時刻の時差を「GMTタイムゾーン一覧表」を参考に確認し、[+]または[-]をBボタンで設定して下さい。
- Cボタンを押します。→数字(時差)が点滅します。
- Bボタンで数字(時差)を設定して下さい。
- Dボタンを押します。→[デュアル時刻]がセットされます。
- Cボタンで通常時刻表示モードに戻ります。
※デュアル時刻を確認したいときは、通常時刻表示モードのときにCボタンを4回押しとデュアル時刻が表示されます。

例)デュアル時刻をシドニーに設定(時差+10時間)



リセット機能について

操作中に不明な点が出てきた場合、リセット操作をして下さい。設定されている内容がお使い初めの状態に戻ります。C、Dボタンを押しながら、A、Bボタンを同時に押しして下さい。全ての機能がリセットされて初期設定画面に戻り、電波受信を開始します。

ソーラーパワー駆動について

本製品はソーラーパネルに当たる日光や電気の光を、エネルギーに変換して駆動します。日光もしくは照明の光をソーラーパネルに当てて頂くと、電池の消費を抑えることが出来ます。※このエネルギーを蓄電することは出来ません。※光が当たっていないときは、リチウム電池で駆動します。